

運用報告書（全体版）

第8期

（決算日 2024年8月13日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間とクローズド期間	信託期間は約9年8ヵ月（2016年12月16日～2026年8月13日まで） クローズド期間はありません。	
運用方針	当ファンドは、投資先ファンドを通じて、世界の株式・債券・リート及びコモディティ（商品）等に分散投資を行い、インカム収益の確保を重視し、中長期的な信託財産の成長をめざします。	
主要投資対象	ケイマン籍円建て外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲー新生・ワールドラップ・ファンド・ステイブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」 受益証券	世界の株式・債券・リートおよびコモディティ等へ分散投資を行います。
	証券投資信託「新生ショートターム・マザー・ファンド」 受益証券	主としてわが国の短期公社債および短期金融商品等に投資します。
投資制限	①投資信託証券、短期社債等（「社債、株式等の振替に関する法律」以下「社振法」といいます）第66条第1号に規定する短期社債、同法第117条に規定する相互会社の社債、同法第118条に規定する特定社債および同法第120条に規定する特別法人債をいいます）およびコモマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。 ②投資信託証券への投資割合に制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ⑤外貨建有価証券への投資については、わが国の国際収支上の理由等により特に必要と認められる場合には、制約されることがあります。 ⑥同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、当該投資信託証券が一般社団法人投資信託協会の規則に定めるエクスポージャーがリスクスルーできる場合に該当しないときは、投資信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ⑦一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。	
分配方針	①分配対象額の範囲は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれか多い金額とします。 ②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ③収益分配に充てずに信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。	

SBIワールドラップ・セレクト

追加型投信／内外／資産複合

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ご購入いただいております「SBIワールドラップ・セレクト」は、去る2024年8月13日に第8期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00～17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<https://www.sbiam.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債券率	投資信託 証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税金 込分	み 期騰落 金額				
	円	円	%	%	%	百万円	
4期(2020年8月13日)	9,912	0	△2.2	0.0	99.1	2,802	
5期(2021年8月13日)	10,090	0	1.8	0.0	98.8	2,126	
6期(2022年8月15日)	9,184	0	△9.0	0.0	98.3	1,550	
7期(2023年8月14日)	8,733	0	△4.9	0.1	99.0	1,211	
8期(2024年8月13日)	8,629	0	△1.2	0.1	98.0	911	

(注1) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注2) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 純資産総額は単位未満を切り捨て、騰落率、各組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注5) 当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額			債組入比率	債券率	投資信託 証券組入比率
		騰落	率			
(期首) 2023年8月14日	円		%	%	%	%
	8,733	—	—	0.1	99.0	99.0
8月末	8,677	△0.6		0.1	99.1	99.1
9月末	8,415	△3.6		0.1	98.6	98.6
10月末	8,402	△3.8		0.1	98.9	98.9
11月末	8,644	△1.0		0.1	98.2	98.2
12月末	8,895	1.9		0.1	98.4	98.4
2024年1月末	8,721	△0.1		0.1	98.5	98.5
2月末	8,641	△1.1		0.1	98.6	98.6
3月末	8,717	△0.2		0.1	98.6	98.6
4月末	8,482	△2.9		0.1	99.5	99.5
5月末	8,493	△2.7		0.1	98.2	98.2
6月末	8,552	△2.1		0.1	98.1	98.1
7月末	8,583	△1.7		0.1	99.0	99.0
(期末) 2024年8月13日	8,629	△1.2		0.1	98.0	98.0

(注1) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注2) 騰落率は期首比で表示しています。

(注3) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注5) 騰落率、各組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注6) 当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2023年8月15日から2024年8月13日まで）

○基準価額等の推移



期 首： 8,733円

期 末： 8,629円（既払分配金（課税前）：0円）

騰落率： △ 1.2%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（課税前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首（2023年8月14日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、上記表示期間に収益分配が行われなかった場合、基準価額と分配金再投資基準価額の推移は同一のものとなります。

(注4) 当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

(注5) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期における基準価額の主な変動要因は、以下の通りとなります。

当ファンドの基準価額に対するプラス要因

- ・ 2023年10月から12月にかけて、2024年の利下げ観測が強まるなかで先進国債券および先進国株式が上昇したこと。

当ファンドの基準価額に対するマイナス要因

- ・ 主に2024年1月から4月にかけて、米国のインフレの加速と堅調な経済指標の発表を受けて2024年中の利下げ期待が後退したこと、先進国の債券市場が下落したこと。
- ・ 2024年7月後半から8月にかけて、テクノロジー銘柄を中心に世界株式が下落したこと。

○投資環境

【世界金融市場】

当期間中、株式、国債は上昇しました。2023年8月～12月の株式については、経済の軟着陸を示す経済指標やFRB（米国連邦準備制度理事会）がハト派姿勢を強め、米国の政策担当者が2024年の利下げを予想したことが好感され年末にかけて先進国株式、新興国株式は上昇しました。債券については、米国の政策金利の高止まり懸念から米国10年国債利回りが期間中一時5.0%を上回る場面も見られましたが、年末にかけて2024年の利下げ観測が強まるなかで、先進国債券は上昇（利回りは低下）しました。日本国債は、日本銀行がゼロ金利政策を解除するとの見方が広がるなか、他市場と比べて上昇（利回りは低下）は限定的となりました。2024年1月～8月の株式については、6月まではAI（人工知能）関連や半導体関連銘柄などのテクノロジー銘柄が主要中央銀行の利下げ期待を背景に年初から米国株式を牽引してきました。7月に入り、中国への先進国の半導体輸出規制などの政策リスクや、軟調な米国インフレ率による早期の利下げ期待が高まったことなどからテクノロジー銘柄が大きく売られ、一方でバリュー銘柄が選好されるといった大きなローテーションが見られ、当期末にかけて失速する動きとなりましたが、当期を通じては先進国株式、新興国株式ともに上昇しました。債券については、利下げ期待に左右され期中は一進一退の動きとなりました。その後、ECB（欧州中央銀行）やカナダなど主要国の利下げが相次ぎ、FRBも2024年9月に利下げを行うとの期待が高まったことを受けて当期末にかけて先進国債券は上昇（利回りは低下）しました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、日本銀行による3月のマイナス金利政策の解除および7月の政策金利引き上げの影響等から、期初は0%を下回る水準であったものの、期末時点においては0.132%程度水準となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、投資先ファンドであるケイマン籍円建て外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」受益証券（以下「投資先ファンド」といいます）と、「新生 ショートターム・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としています。当期は「投資先ファンド」への投資割合を高位に保ち、「新生 ショートターム・マザーファンド」を一部組入れた運用を行いました。

【投資先ファンド】

当期においては、変動リスクの高い足もとの市場環境を受けて、先進国債券、先進国株式のウェイトを引き下げ、現金等のウェイトを引き上げました。

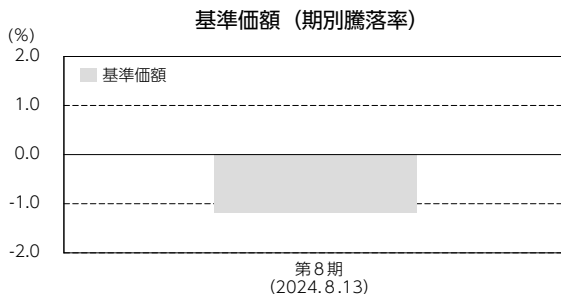
【新生 ショートターム・マザーファンド】

新生 ショートターム・マザーファンドでは、主として国庫短期証券等を組み入れましたが、マイナス金利政策が解除されるまでは国庫短期証券等の利回りはマイナスで推移する状況が続いたものの、4月以降は安定してプラスの利回りとなっています。当該期間において、当マザーファンドの基準価額に大きな変動はありませんでした。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、特定のベンチマーク（運用成果の目標基準）や参考指数を設けておりません。

右記のグラフは、期中の期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（課税前）込みです。

○分配金

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかつた利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第8期
	2023年8月15日～ 2024年8月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	124

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、引き続き、投資先ファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

【投資先ファンド】

株式市場に対する投資先ファンドの見通しは引き続き楽観的であり、米国経済と世界経済の両方がソフトランディングに向かうと予想しています。すなわち、経済成長とインフレは減速するものの、景気後退は起こらないと考えています。このようなシナリオでは、企業収益が引き続き増加し、主要中央銀行が金融政策を緩和する可能性が高いため、株式市場はその恩恵を受けると思われます。一方で、投資先ファンドのこうした楽観的な見方はふたつの要因によって抑制されています。第1に、株式のバリュエーションが多く市場ですでに高い水準に達していること、第2に、コアインフレが依然として高止まっているため、利下げの余地は限られていることです。さらに、経済指標は、成長が期待される地域が変わりつつあることを示しています。投資先ファンドでは、こうした動きは、多くの経済分野と市場セグメントにおける新たな投資機会につながる可能性があると考えています。ただし、投資家の期待に届かない場合や、政治情勢が不安定になるとボラティリティが高まるリスクがあります。

最近の先進国国債は、過去数年と異なり各々固有の値動きを示しています。各国の金融・財政政策はそれぞれ異なる方向に向かっており、政治的介入によってその乖離が拡大する可能性があります。米国国債（およびその他の債券）のイールドカーブは、引き続き歴史的な水準でフラット化していますが、この環境はまもなく変わると予想しています。現時点では、米国とドイツのイールドカーブは、主要中央銀行が緩和的な政策を行うに伴い2024年の後半にスティープ化すると予想しています。さらに、高格付社債は業績が概ね健全でありデフォルト率も安定推移しており、金融緩和的な環境などから追加的なリターンの源泉として投資妙味が高いと考えます。一方、ハイ・イールド債のバリュエーションには注意が必要です。したがって、債券に対して異なるアプローチとリスク・リターンを考慮すべきだと考えています。

【新生 ショートターム・マザーファンド】

日本銀行は、2024年3月に先行きの見通しについて、2%の「物価安定の目標」が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況に至ったと判断し、マイナス金利政策等を終了しました。さらに7月には国内の経済や物価が見通しに概ね沿って推移していると判断し、政策金利を0.25%程度に引き上げました。先進国において最も金利の低い円金利の見通しは、一部の海外投資家にとっては調達通貨としての一面もあることから彼らの投資行動に影響を与える可能性があります。今後も日本銀行による政策金利引き上げに関する観測は、国内外の金融市場の変動性を高める要因となる可能性があります。マザーファンドでは引き続き当初の運用計画に基づき、国庫短期証券等に投資していく予定です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 8 月15日～2024年 8 月13日)

項 目	当期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	59 円	0.691 %	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投 信 会 社）	（ 26）	（0.307）	委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	（ 30）	（0.351）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	（ 3）	（0.033）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	14	0.166	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	（ 6）	（0.066）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印 刷）	（ 9）	（0.100）	開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	73	0.857	
期中の平均基準価額は、8,601円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

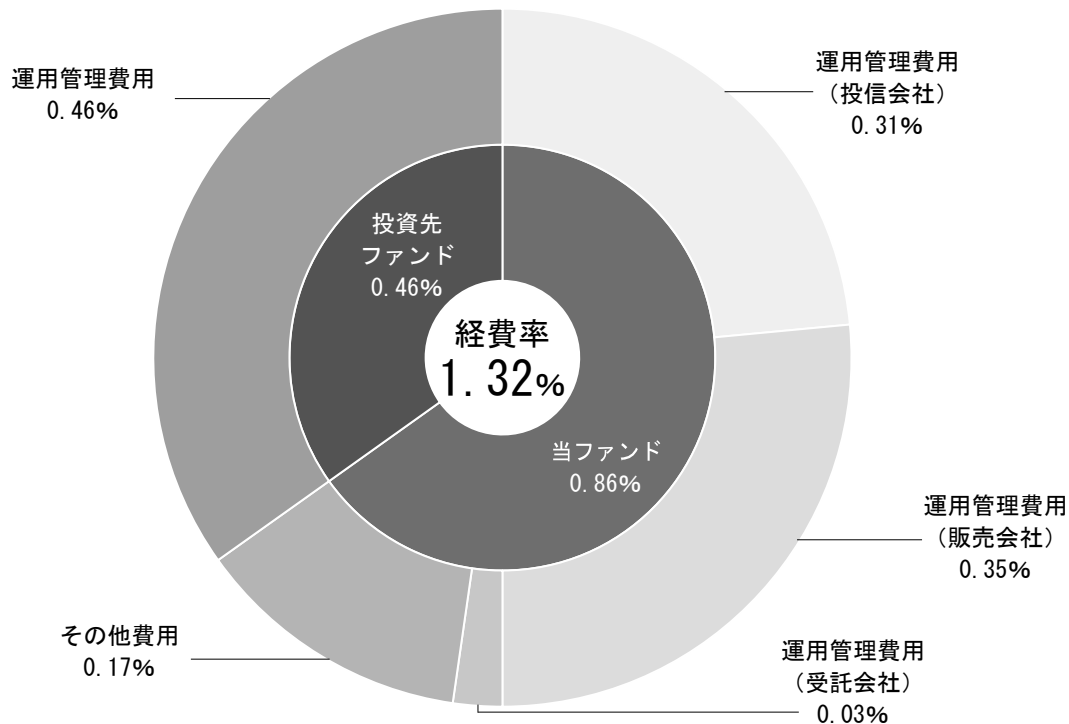
(注5) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注6) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.32%**です。



経費率 (①+②)	1.32%
①当ファンドの費用の比率	0.86%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.46%

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年8月15日～2024年8月13日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国 (邦貨建)	UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲー 新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・ タイプ(適格機関投資家限定)円ヘッジクラス	口	千円	口	千円
		—	—	329,565,923	300,000
	合 計	—	—	329,565,923	300,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

当期中における売買及び取引はありません。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月15日～2024年8月13日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年8月13日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	当 期		末
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		口	口	千円	%
UBSユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅲー新生・ ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ(適 格機関投資家限定)円ヘッジクラス		1,304,539,485	974,973,562	892,880	98.0
合 計		1,304,539,485	974,973,562	892,880	98.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘 柄 名	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
新生 ショートターム・マザーファンド	千口 982	千口 982	千円 993

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年8月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 892,880	% 97.2
新生 ショートターム・マザーファンド	993	0.1
コール・ローン等、その他	24,911	2.7
投資信託財産総額	918,784	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月13日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	918,784,154円
コール・ローン等	24,910,266
投資信託受益証券(評価額)	892,880,788
新生 ショートターム・マザーファンド(評価額)	993,025
未収利息	75
(B) 負債	7,599,642
未払解約金	3,483,876
未払信託報酬	3,298,801
その他未払費用	816,965
(C) 純資産総額(A - B)	911,184,512
元本	1,055,982,312
次期繰越損益金	△ 144,797,800
(D) 受益権総口数	1,055,982,312口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,629円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,387,516,370円
期中追加設定元本額	20,843,450円
期中一部解約元本額	352,377,508円
(注) 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は144,797,800円です。	

○損益の状況 (2023年8月15日~2024年8月13日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 10,101円
受取利息	1,059
支払利息	△ 11,160
(B) 有価証券売買損益	△ 1,908,212
売買益	8,478,025
売買損	△ 10,386,237
(C) 信託報酬等	△ 8,905,902
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 10,824,215
(E) 前期繰越損益金	△ 132,811,268
(F) 追加信託差損益金	△ 1,162,317
(配当等相当額)	(1,867,075)
(売買損益相当額)	(△ 3,029,392)
(G) 計(D + E + F)	△ 144,797,800
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	△ 144,797,800
追加信託差損益金	△ 1,162,317
(配当等相当額)	(1,867,075)
(売買損益相当額)	(△ 3,029,392)
分配準備積立金	11,278,542
繰越損益金	△ 154,914,025

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,867,075円)および分配準備積立金(11,278,542円)より分配対象収益は13,145,617円(10,000口当たり124円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○お知らせ

- ・2023年11月15日に、ファンド名称を「新生・ワールドラップ・セレクト」から変更しました。
- ・2024年5月15日、投資先ファンドの名称が「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲー新生・ワールドラップ・ファンド・ステイブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス」へ変更されたことに伴い、信託約款の変更を行いました。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2024年8月13日現在）

<新生 ショートターム・マザーファンド>

下記は、新生 ショートターム・マザーファンド全体（13,513千口）の内容です。

国内（邦貨建）公社債

区 分	当期末						
	額面金額	評 価 額	組入比率	組入比率 (うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	12,800 (12,800)	12,798 (12,798)	93.7 (93.7)	— (—)	— (—)	— (—)	93.7 (93.7)
合 計	12,800 (12,800)	12,798 (12,798)	93.7 (93.7)	— (—)	— (—)	— (—)	93.7 (93.7)

(注1) ()内は非上場債で内書きです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

国内（邦貨建）公社債銘柄別

種 類	銘 柄 名	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国 債 証 券	第 1241 回 国庫短期証券	%	千円	千円	
		—	12,800	12,798	2024/10/7
	合 計		12,800	12,798	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

<参考情報>

主要投資対象の投資信託証券の概要

ファンド名	UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）円ヘッジクラス	
形態	ケイマン籍円建て外国投資信託受益証券（契約型投資信託）	
主な投資対象	低リスク資産：先進国国債、投資適格社債 高リスク資産：先進国株式、新興国株式、新興国国債、高利回り社債、先進国リート、コモディティ（商品）等	
主な投資態度	・標準偏差（*1）を年率4%程度とします。	
	・過去1年の高値からの下落率を10%とします。	
	・原則として、高リスク資産への実質的な投資割合の合計は、純資産総額の20%以内とします。	
	・米ドル建て以外の資産へ投資した場合、原則として対米ドルで為替取引を行い為替リスクの低減を図ります。	
	・純資産総額を米ドル換算した額に対して、原則として、対円での為替ヘッジを行います。	
ファンドにかかる費用	運用管理報酬	純資産総額に対し年率0.47%
	その他	受託報酬、管理事務代行報酬、保管報酬等、運営および一般管理費、組入有価証券等の売買の際に発生する取引手数料、ファンド設立費用（弁護士費用等）、または監査報酬等がかかります。
管理会社	UBSマネジメント（ケイマン）リミテッド（*2）	
副投資運用会社	アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン	

*1：標準偏差とは、価額変動のばらつきを定量的に表す尺度です。標準偏差の値が大きいほど、ばらつきの幅が広く、リスクは大きいとされます。逆に値が小さいほど、ばらつきの幅が狭く、リスクは小さいとされます。

*2：クレディ・スイス・マネジメント（ケイマン）リミテッドは、2024年3月1日付でUBSマネジメント（ケイマン）リミテッドに名称変更されました。

※上記の「標準偏差」、「過去1年の高値からの下落率」、「投資割合」は、投資先ファンドのポートフォリオ（米ドルベース）における目標数値です。また、必ずしも目標数値内に収まることを保証するものではありません。

UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）

包括利益計算書

（2023年12月31日に終了する会計年度）

収入	(円)
損益を通じて公正価値で測定する金融資産	
受取利息	33,681,886
受取配当金	2,156,013
損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債における実現純損失	(200,878,308)
損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債における未実現純損失の純変動	138,227,736
外貨取引における実現純収益	31,771,096
外貨取引における未実現評価損の純変動	(1,324,771)
総損失	3,633,652
費用	
報酬代理人報酬	1,487,497
副投資運用会社報酬	4,338,526
事務管理代行会社報酬	6,320,791
保管会社報酬	3,605,955
取引手数料	33,210
専門家報酬	2,387,465
受託会社報酬	1,556,725
名義書換代理人報酬	361,045
登録費用	73,000
総費用	20,164,214
金融費用引前営業損失	(16,530,562)
金融費用	
償還可能受益証券保有者への分配	0
支払利息	(7,708)
総金融費用	(7,708)
金融費用引後税引前損失	(16,538,270)
源泉徴収税費用	(140,130)
営業活動からの償還可能受益証券保有者に帰属する純資産の減少	(16,678,400)

UBS ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－新生・ワールドラップ・ファンド・ステーブル・タイプ（適格機関投資家限定）

投資有価証券明細表

2023年12月31日現在

種別	銘柄名	利率 (%)	額面金額	評価額 (日本円)	償還年月日
	英国		英ポンド		
国債	UNITED KINGDOM GILT /GBP/ REGD REG S	0.5	13,000	2,027,905	2029/1/31
国債	UNITED KINGDOM GILT /GBP/ REGD REG S	1	17,000	2,531,896	2032/1/31
国債	UNITED KINGDOM GILT /GBP/ REGD REG S	0.625	62,000	4,915,054	2050/10/22
国債	UNITED KINGDOM GILT /GBP/ REGD REG S	0.375	38,000	6,259,044	2026/10/22
国債	UNITED KINGDOM GILT /GBP/ REGD REG S	1.75	28,000	3,902,971	2037/9/7
				19,636,870	
	フランス		ユーロ		
国債	FRANCE (GOVT OF) /EUR/ REGD	5.75	25,000	4,891,092	2032/10/25
国債	FRANCE (GOVT OF) /EUR/ REGD REG S	0.25	68,000	9,997,907	2026/11/25
国債	FRANCE (GOVT OF) /EUR/ REGD	1.25	33,000	4,348,088	2036/5/25
国債	FRANCE (GOVT OF) /EUR/ REGD	0.75	30,000	4,356,459	2028/11/25
国債	FRANCE (GOVT OF) /EUR/ REGD	0.75	38,000	3,323,964	2053/5/25
				26,917,510	
	ドイツ		ユーロ		
国債	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND /EUR/ REGD REG S SER 2007	4.25	21,000	4,115,457	2039/7/4
国債	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND /EUR/ REGD REG S	0.25	24,000	3,443,605	2029/2/15
国債	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND /EUR/ REGD REG S	0	29,000	3,909,702	2031/8/15
国債	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND /EUR/ REGD REG S	1.8	20,000	2,808,966	2053/8/15
国債	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND /EUR/ REGD REG S	0.25	72,000	10,613,827	2027/2/15
				24,891,557	
	イタリア		ユーロ		
国債	BUONI POLIENNALI DEL TES /EUR/ REGD SER 20Y	2.95	39,000	5,381,469	2038/9/1
国債	BUONI POLIENNALI DEL TES /EUR/ REGD SER 8Y	0.85	95,000	13,971,511	2027/1/15
国債	BUONI POLIENNALI DEL TES /EUR/ REGD REG S SER 7Y	3.85	30,000	4,841,518	2029/12/15
国債	BUONI POLIENNALI DEL TES /EUR/ REGD SER 50Y	2.15	30,000	2,846,953	2072/3/1
国債	BUONI POLIENNALI DEL TES /EUR/ REGD SER 10Y	2.5	38,000	5,466,260	2032/12/1
				32,507,711	
上場投資信託	ルクセンブルグ XTRACKERS II EUR HIGH YIELD CORPORATE BOND UCITS ETF /EUR/ CL 1D EUR INC	—	3,245	8,083,664	—

種別	銘柄名	利率 (%)	額面金額	評価額 (日本円)	償還年月日
上場投資信託	ルクセンブルグ AMUNDI MSCI JAPAN UCITS ETF /EUR/ CL UCITS ETF JPY ACC	—	ユーロ 1,140	2,641,562	—
				19,038,439	
上場投資信託	アイルランド ISHARES CORE MSCI WORLD UCITS ETF CL USD ACC	—	米ドル 3,722	47,723,971	—
上場投資信託	ISHARES CORE MSCI WORLD UCITS ETF CL USD ACC	—	8,242	104,915,085	—
上場投資信託	XTRACKERS USD HIGH YIELD CORPORATE BOND UCITS ETF CL 1D	—	4,404	8,006,815	—
上場投資信託	XTRACKERS S&P 500 EQUAL WEIGHT UCITS ETF CL 1C	—	902	10,843,271	—
				171,489,142	
	米国		米ドル		
国債	UNITED STATES TREASURY BOND	5	31,000	4,901,655	2037/5/15
国債	UNITED STATES TREASURY BOND	4.75	303,000	46,342,873	2041/2/15
国債	UNITED STATES TREASURY BOND	1.25	766,000	58,525,885	2050/5/15
国債	UNITED STATES TREASURY NOTE	2.75	752,000	103,755,815	2025/2/28
国債	UNITED STATES TREASURY NOTE	2.375	493,000	66,055,132	2027/5/15
国債	UNITED STATES TREASURY NOTE	1.625	52,000	6,530,568	2029/8/15
国債	UNITED STATES TREASURY NOTE	1.25	35,000	4,813,448	2024/8/31
国債	UNITED STATES TREASURY NOTE	0.625	259,000	32,836,763	2027/3/31
国債	UNITED STATES TREASURY NOTE	0.25	520,000	69,051,341	2025/5/31
国債	UNITED STATES TREASURY NOTE	2.75	401,000	51,871,216	2032/8/15
国債	UNITED STATES TREASURY NOTE	3.875	472,000	66,498,370	2029/11/30
				231,601,706	
	日本		日本円		
国債	JAPAN (30 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 4	2.9	3,700,000	4,340,840	2030/11/20
国債	JAPAN (30 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 20	2.5	3,800,000	4,517,478	2035/9/20
国債	JAPAN (20 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 93	2	11,500,000	12,210,125	2027/3/20
国債	JAPAN (30 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 26	2.4	14,300,000	16,894,163	2037/3/20
国債	JAPAN (20 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 98	2.1	8,350,000	8,963,391	2027/9/20
国債	JAPAN (40 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 5	2	2,600,000	2,808,728	2052/3/20
国債	JAPAN (10 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 353	0.1	7,700,000	7,652,491	2028/12/20
国債	JAPAN (30 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 61	0.7	11,700,000	9,597,510	2048/12/20
国債	JAPAN (10 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 363	0.1	12,500,000	12,204,625	2031/6/20
国債	JAPAN (10 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 336	0.5	14,600,000	14,675,482	2024/12/20
国債	JAPAN (10 YEAR ISSUE) /JPY/ REGD SER 339	0.4	5,600,000	5,632,592	2025/6/20
				61,534,819	

新生 ショートターム・マザーファンド

運用報告書

第17期

決算日 2023年12月11日

(計算期間：2022年12月13日から2023年12月11日まで)

当マザーファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	わが国の短期公社債および短期金融商品に投資を行い、利子等収益の確保を図り、信託財産の安定的な収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	わが国の短期公社債および短期金融商品
組入制限	<p>①外貨建て資産への投資は行いません。</p> <p>②先物取引等は価格変動リスクおよび金利変動リスクを回避するため行うことができます。</p> <p>③スワップ取引は金利変動リスクを回避するため行うことができます。</p> <p>④委託者は、デリバティブ取引等（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、新株予約権証券、新投資口予約権証券またはオプションを表示する証券もしくは証書にかかる取引および選択権付債券売買を含みます。）について、一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、投資信託財産の純資産総額を超えることとなる投資の指図をしません。</p> <p>⑤一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</p>

 **SBI Asset Management**

SBIAセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木 1-6-1

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組入比率	純資産総額
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
13期(2019年12月10日)	10,168	△0.1	10,126	△0.1	55.9	107
14期(2020年12月10日)	10,155	△0.1	10,111	△0.2	68.4	43
15期(2021年12月10日)	10,144	△0.1	10,099	△0.1	59.9	41
16期(2022年12月12日)	10,134	△0.1	10,087	△0.1	74.2	26
17期(2023年12月11日)	10,117	△0.2	10,071	△0.2	93.6	13

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 純資産総額は単位未満を切捨て、騰落率、組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は国庫短期証券3ヵ月物の利回りをもとに委託者が独自に算出した指数で、当初設定日を10,000として指数化しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組入比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2022年12月12日	10,134	—	10,087	—	74.2
12月末	10,133	△0.0	10,086	△0.0	74.2
2023年1月末	10,131	△0.0	10,085	△0.0	74.2
2月末	10,130	△0.0	10,083	△0.0	74.2
3月末	10,127	△0.1	10,082	△0.0	74.3
4月末	10,126	△0.1	10,081	△0.1	74.3
5月末	10,125	△0.1	10,079	△0.1	74.3
6月末	10,123	△0.1	10,078	△0.1	74.3
7月末	10,122	△0.1	10,077	△0.1	93.6
8月末	10,121	△0.1	10,075	△0.1	93.6
9月末	10,121	△0.1	10,074	△0.1	93.6
10月末	10,119	△0.1	10,073	△0.1	93.6
11月末	10,118	△0.2	10,071	△0.2	93.6
(期末) 2023年12月11日	10,117	△0.2	10,071	△0.2	93.6

(注) 基準価額は1万円当たりで表示しています。

(注) 騰落率は期首比で表示しています。

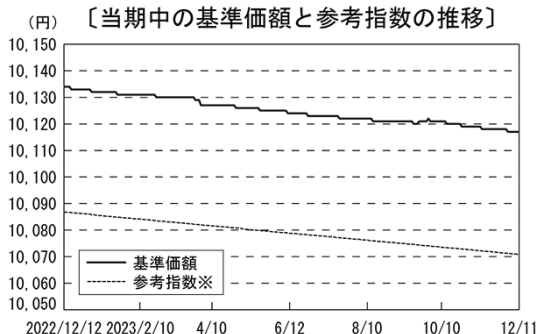
(注) 組入比率は純資産総額に対する組入比率です。

(注) 騰落率、組入比率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。

(注) 参考指数は国庫短期証券3ヵ月物の利回りをもとに委託者が独自に算出した指数で、当初設定日を10,000として指数化しております。

○当期の運用経過

(2022年12月13日～2023年12月11日)



【基準価額の主な変動要因】

基準価額は期首10,134円、期末10,117円となりました。

【市況環境】

国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、日本銀行による長短金利操作付き量的・質的金融緩和の影響等から、当期を通じて0%を下回る水準で推移し、期末時点においては-0.137%程度の水準となりました。

※参考指数は、国庫短期証券3ヵ月物の利回りをもとに委託者が独自に算出した指数で、当初設定日を10,000として指数化しております。

【運用状況】

新生 ショートターム・マザーファンドでは、主として国庫短期証券等を組み入れましたが、当期を通じて、国庫短期証券等の利回りはマイナスで推移する状況が続きました。当該期間において、当マザーファンドの基準価額に大きな変動はありませんでした。

【今後の運用環境の見通しと運用方針】

世界的にインフレが進行する中、主要国の中央銀行は金融引き締めスタンスを維持しました。日本銀行は、物価上昇率（前年比）2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、金融緩和を継続していましたが、2022年12月の金融政策決定会合で、長期金利の許容変動幅を拡大するなど今後の正常化への布石とも取れる修正を行い、2023年7月以降はイールドカーブ・コントロール（YCC）の柔軟化に踏み切るなどしたことから、市場では金融政策正常化の時期に関して思惑が広がりつつあり、金利の変動が大きくなる局面も予想されます。マザーファンドでは引き続き当初の運用計画に基づき、国庫短期証券等に投資していく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年12月13日～2023年12月11日)

当期中に発生した費用はありません。

○売買及び取引の状況

(2022年12月13日～2023年12月11日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 52,425	千円 7,001 (52,400)

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨てて表示しています。

(注) ()内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

(2022年12月13日～2023年12月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年12月11日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	12,800 (12,800)	12,800 (12,800)	93.6 (93.6)	— (—)	— (—)	— (—)	93.6 (93.6)	
合計	12,800 (12,800)	12,800 (12,800)	93.6 (93.6)	— (—)	— (—)	— (—)	93.6 (93.6)	

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 一印は組入なしです。

(注) 評価については価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		%	千円	千円	
第1184回国庫短期証券		—	12,800	12,800	2023/12/25
合 計			12,800	12,800	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

○投資信託財産の構成

(2023年12月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,800	93.6
コール・ローン等、その他	871	6.4
投資信託財産総額	13,671	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てて表示しています。

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合で、小数点第2位を四捨五入して表示しています。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,671,447 円
コール・ローン等	870,743
公社債(評価額)	12,800,704
(B) 負債	2
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	13,671,445
元本	13,513,628
次期繰越損益金	157,817
(D) 受益権総口数	13,513,628口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,117円

<注記事項>

期首元本額	26,333,083円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	12,819,455円
1口当たり純資産額	1,0117円

期末における元本の内訳

SBI・UTIインドインフラ関連株式ファンド	7,097,650円
SBI・フラトンVPICファンド	4,607,481円
SBIワールドラップ・セレクト	982,415円
SBI・UTIインドファンド	731,115円
SBI・コムジスト・クオリティグロース・世界株式ファンド	65,807円
SBI・コムジスト・クオリティグロース・日本株式ファンド	29,160円

○損益の状況

(2022年12月13日～2023年12月11日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 4,012
支払利息	△ 4,012
(B) 有価証券売買損益	△ 32,741
売買損	△ 32,741
(C) 当期損益金(A+B)	△ 36,753
(D) 前期繰越損益金	352,248
(E) 解約差損益金	△157,678
(F) 計(C+D+E)	157,817
次期繰越損益金(F)	157,817

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で**(E)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。